

## 新型コロナウイルス感染症の後遺症に悩む方々の日常を守る取組の強化を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の罹患者の中には、疲労感・倦怠感などの症状、いわゆる後遺症を訴える方が増えている。後遺症の症状には、呼吸困難や集中力の低下、記憶力の低下、睡眠障害などもあり、仕事や学業の継続が困難になる方も多く、社会生活上の影響は非常に大きい。例えば、こどもの場合は自分から症状を訴えることが難しいため、集中力の低下等により怠けていると周囲に捉えられてしまうおそれもある。

感染法上の位置付けが5類に移行され、新型コロナウイルス感染症への向き合い方も変わる中で、いまだに後遺症に悩み、生活に大きな影響を受けている方々の治療法等の確立は、重要な課題である。

よって、本区議会は、国会及び政府に対し、新型コロナウイルス感染症の後遺症に悩む方々の日常を守るために、下記の事項について、積極的な取組を求める。

### 記

- 1 新型コロナウイルス感染症の後遺症の発生状況について、類似する症状の疾患との鑑別も含めた実態調査を行うこと。
  - 2 後遺症に対応できる医療機関や相談窓口を拡充すること。
  - 3 自己免疫疾患との関連等を含めた新型コロナウイルス感染症による後遺症の原因究明及び新たな治療法の確立に向けた研究予算の確保を行うこと。
- 以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和5年10月25日

江東区議会議長 山本 香代子

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
厚生労働大臣

} 宛て